

# 小竹だより

練馬区立小竹小学校

校長 佐藤 正文



平成30年 6月号  
No. 525

## 人とのふれあい



【安全教育 自転車シミュレーション5年】

「もしかしたら」車が飛び出してくるかもしれない。自転車での交通事故を起こさないように気をつけることを学びました。相手にけがをさせてしまい、家族がとても困ってしまうお話も聞くことができました。

先日、理科担当の先生方が、5年生の「メダカの誕生」の単元の準備をされていました。卵を顕微鏡で観察するために、一つ一つ小さな袋に入れてあります。少しお手伝いをさせてもらいました。小さな小さなビーズのような卵。小さないのちがここにある実感。子供たちは観察を通して、生命の不思議を感じることでしょう。

また、5・6年生には、秋に咲く菊の苗植えのお手伝いをしてもらいました。これから半年、大きく成長し立派な菊の花が咲く姿を、地域の方々も楽しみにしていると聞いています。

5月27日（日）には、小竹町会の清掃活動に本校の児童もたくさん参加しており、地域の方々とのふれあいながら小竹向原駅周辺をきれいにすることができました。地域の美化活動に参加した経験はこれからの生活に生きると信じています。町会の皆様ありがとうございました。

終了後、校庭では「若竹クラブ」と「ソフト

## 大切ないのち

校長 佐藤 正文

テニス」、体育館では「キャッチバレーボール」のチームが練習をしていたので、活動の様子を見ることができました。どの活動も歴史があり、よき伝統を引き継ぎ運営していることを知りました。「サッカークラブ」は、平日の放課後にも練習が行われ、指導者の方々が熱心に指導されている姿が見られます。各団体の監督、コーチ、スタッフの皆様が子供たちのために、楽しみながら関わっていることに感銘しております。

さて、6月は「ふれあい月間」「食育月間」です。児童朝会で「ふ・れ・あ・い」をテーマにお話をしました。入学式からスタートしたひらがな一文字から、短いセンテンスでお話を作り伝えています。今日はどんなお話だろうと関心をもって聞いてくれるように…。

ふ:二人、三人、四人…友達百人できるかな

れ:レッツ チャレンジ 人とかかわり

あ:あいうえ 思いやり 友達のこと考えて

い:言ってあげよう よいこと よくないこと  
勇気をもって

小竹小の子供たち一人一人が、困っている人を助け、励まし合い、相手のことを理解し、よりよい関係を築く力が身に付くように、教職員一同で取り組んで参ります。

そして、いのちの源である食事。成長期の子供たちにとって一日三食の食を正しく摂ることは、大人以上に大切なことです。「食育月間」を通して、食に興味関心をもち、食事のもつ意味やよさを感じ、見直していきましょう。

色とりどりの紫陽花が咲く季節となりました。保護者、地域の皆様のご支援、ご協力、よろしく願いいたします。

